

JASDAQ
証券コード：4970
URL <http://www.toyogosei.co.jp/>

株 主 の 皆 様 へ

 **TOYO GOSEI**

第59期 中間報告書

(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

 東洋合成工業株式会社

Message to Our Stakeholders

■ ご挨拶

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと拝察申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社の第59期中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

平成20年11月8日に発生した当社千葉工場第2感光材工場電気室の火災におきましては、昨年11月13日の火災事故に続く火災の発生であり、株主の皆様にご迷惑とご心配をお掛けしたことを深くお詫び申し上げます。

この火災で第2感光材工場3階北側電気室約26㎡が延焼いたしました。人的被害はありませんでした。火災の原因については調査中であり、警察・消防と協力し原因の究明を行っております。なお、同電気室は、動力機械へ配電する施設であり、昨年11月13日に発生した火

災事故で延焼した箇所、復旧工事を行い、監督官庁の完成検査を受け、平成20年9月末以降、順次設備運用を開始しておりました。

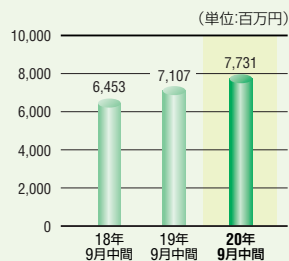
弊社といたしましては、今後このような事故の発生が無いよう、再度、安全総点検を実施し、安全対策を徹底してまいります。

■ 当中間期の経営成績（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

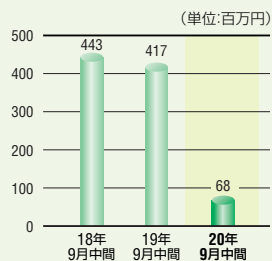
売上高	7,731百万円	(前年同期比 + 8.8%)
営業利益	68百万円	(前年同期比 △83.7%)
経常利益	24百万円	(前年同期比 △93.3%)
四半期純利益	14百万円	(前年同期比 △92.8%)

当中間期は、世界的な景気減速感が広がる厳しい状況の中、当社は積極的な市場開拓と新製品開発に注力した結果、当中間期の売上高は全事業部門で前年を上回り、

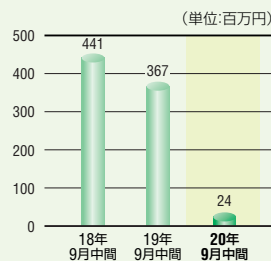
売上高



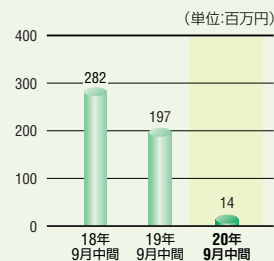
営業利益



経常利益



四半期純利益



7,731百万円と前期比8.8%の増収となりました。

一方、損益面では、原油高による原材料費・燃料費の高騰、千葉工場火災事故による生産能力の減少に加え、「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用にともなう評価損を計上した結果、営業利益、経常利益、四半期純利益ともにいずれも前中間期と比較し減益となりました。

なお、株主の皆様に対する平成20年9月30日を基準日とする中間配当金は、業績の動向、配当性向並びに内部留保等を総合的に勘案し、1株当たり6円00銭とさせていただきます。

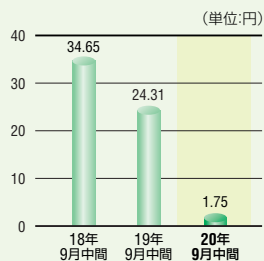
今後も、社員一丸となって安全対策並びに業績向上を目指し、株主の皆様やお取引先様並びに社会に貢献できる企業として邁進する所存であります。今後ともさらなるご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

平成20年12月

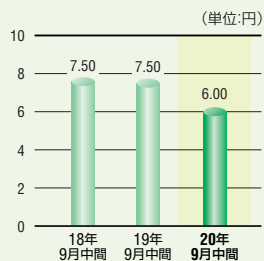


代表取締役社長 木村正輝

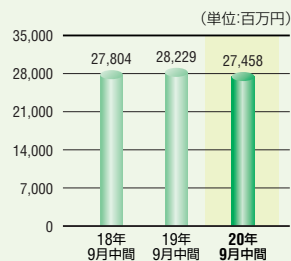
1株当たり四半期純利益



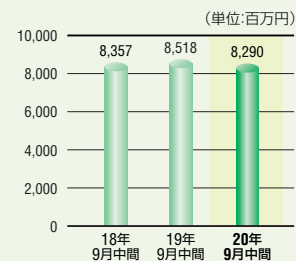
1株当たり中間配当金



総資産



純資産



Segmental Information

■ 感光性材料事業

Photosensitive
Materials Business

● 感光材事業 ●

液晶テレビや半導体の製造を支えています



感光材は、液晶テレビや半導体の製造工程で使用される回路パターンを形成する材料であるフォトレジストの原材料になります（フォトレジストは、感光材と溶剤等から作られます）。当社の感光材は

高性能かつ高品質の製品として高い評価をいただいております。世界トップクラスのメーカーとして高いシェアを有しています。また、大学と共同で次世代型の感光材の研究開発にも積極的に取り組んでいます。

所在地：千葉工場（千葉県香取郡東庄町）

● エネルギー事業 ●

燃費の向上やCO₂削減に寄与する未来の液体



近年、各自動車メーカーでは、ハイブリッド自動車や燃料電池車にエネルギーの有効利用を目的とした電気二重層キャパシタを搭載することが検討されています。当社では、この電気二重層キャパシタ用

の電解液及びイオン液体の製造販売を行っています。イオン液体の使用は多くの分野で研究されており、環境負荷の少ないグリーンケミストリー用反応溶媒や安全で高性能な次世代電解質としての活用が望まれています。また、フォトレジスト用現像液TMAHの製造販売も行っています。

所在地：千葉工場（千葉県香取郡東庄町）

■ 化成品事業

Chemicals Business

● 香料材料事業 ●

世界に広がる香りをつくる



食品（フレーバー）や化粧品（フレグランス）製品の単品香料を作っているのが、香料材料事業部です。食品や化粧品の香りは、何十種類もの単品香料を香料会社で調合し、1つの香りが作られます。当社ではその香りの素となる単品香料を世界各国の大手香料会社に販売しています。当社の単品香料は、香料として一番重要な“匂い”の安定

を特徴としており、国内では食品香料向けが多く、海外では化粧品香料向けに多く販売しています。また近年では、BRICsが牽引する世界経済の成長により販売が拡大しています。

所在地：市川工場（千葉県市川市上妙典）

● グリーンケミカル事業 ●

地球温暖化、大気・水質汚染問題解決に貢献



塗料、電子・電気部品、自動車、製薬、化学等広範な分野では多様な有機溶剤が使われています。こうした廃溶剤の多くは再利用されことなく大気に放出されるか、燃焼処理されています。当社はユーザーで使用された廃溶剤を引き取り、再利用できるように精製を行い、新品同様に蘇らせます。廃液の再利用により、CO₂の削減や大気・水質汚染などの軽減に貢献できます。

当社では特に高度な蒸留技術が求められる半導体などの電子部品材料用溶剤のリサイクルで高い実績を誇っています。

所在地：市川工場（千葉県市川市上妙典）

各事業部門のご紹介

■ ロジスティック事業

Logistics Business

月間200隻の船舶と3,000台のローリーに対応



高浜油槽所において、大手石油化学メーカーや商社の液体化学品を船で受け入れ、一時保管し、タンクローリーで関東各地のユーザー様へ配送を行っています。受け入れ船

舶は月間200隻、ローリーでは3,000台の出荷に対応できます。また、化学メーカーとして長年培ってきた化学物の取り扱い、管理、分析の技術と最新の設備により、安全かつ環境にも配慮した万全の体制を備えています。

所在地：高浜油槽所（千葉県市川市高浜町）

■ 新規開発事業

ナノテク分野、バイオ分野の研究開発



ナノテク分野では、UVナノインプリント専用の樹脂を世界で初めて発売しました。ナノインプリントは、他の微細加工技術では困難な大面積加工が可能のため、次世代型

加工技術として注目されています。

バイオ分野では、新薬開発における前臨床試験を支援する製品「Cell-able（セルエイブル）」のプレートを製造しています。製薬メーカーは、Cell-able使用による研究開発費の削減、開発期間の短縮に期待を寄せています。

所在地：感光材研究所（千葉県印旛郡印旛村）

Pick up

■ ロジスティック事業部Q&A



取締役執行役員ロジスティック事業部長 渡辺宏一

Q ロジスティック事業部の業務内容を教えてください。

A ロジスティック事業部は、千葉県市川市にて1万3千坪の広大な敷地に高浜油槽所を運営しております。高浜油槽所は、石油化学製品を中心とした危険物貯蔵タンクを65基、ドラム缶算で1万本保管可能な危険物立体自動倉庫を有し、化学メーカ

ーとして培った品質管理技術、保管技術を駆使し、日本を代表する石油化学メーカー及び商社へ高度な石油化学物流を提供しております。

Q 事業の強みを教えてください。

A 高浜油槽所は、業界で唯一化学メーカーが経営する油槽所で、感光材製造や蒸留精製で培った高純度技術や高度な品質管理技術を有しており、石油化学製品の取扱、保管品質は、お客様より絶大な信頼をいただいております。

また、物流事業で最大の強みである立地においては、高速道路網、渋滞等を考慮すると他社に無い最適な立地条件となっております。

更に、市川を起点とする東京外郭環状道路開通時には今以上に物流効率化が図られ、お客様が望まれる、物流コスト削減に大きく寄与することが可能となり、この2点が当社の大きな強みとなっております。

Q 一日にどのくらい出荷量がありますか？

A 高浜油槽所では、タンクローリーで月間約3,000台の出荷があり、石油化学製品のローリー出荷では、日本一の出荷量を誇る化学品物流基地となっております。

Q 高浜油槽所ではどのような安全対策を行っていますか？

A 高浜油槽所は、日本一の油槽所として環境及び、社会に与える社会的責任、膨大な商品の出荷に対して荷主、ユーザーへの荷役遂行責任が非常に重く、万が一にも事故を起こせないため、リスクマネジメントシステムを導入し、事故の予知・予防に重点を置き、事故を未然に防ぐ安全対策を実施しております。

Q 今後の見通しについて教えてください。

A ロジスティック事業部は、物流サービス業として付加価値の高いサービスをお客様に提案してまいりました。その結果今期は、ほぼ100%稼働を続けております。売上利益も、5年連続で増収増益を果たし、当社の安定収益確保の役割を果たしてまいりました。

今後は、金融不安、原油価格等が悪い方向へ影響してくることが予想されますが、不景気時には不景気時の当社利用用途があるため、今まで以上に工夫を凝らし効果的、経済的な物流提案をお客様に提案していきたいと考えております。

Financial Statements

ポイント

①流動資産

売上高増加にともなう受取手形・売掛金とたな卸資産の増加はあったものの、火災にともなう保険金収入に係わる未収入金が減少したため、流動資産は前期末と比較し減少いたしました。

②有形固定資産

当中間期の設備投資は1,076百万円実施いたしました。主な設備投資の内容は、生産能力の増強、千葉工場復旧工事並びに安全対策投資であります。

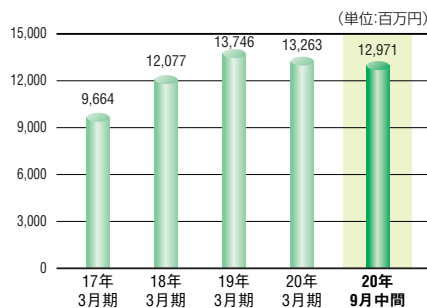
③無形固定資産

業務の見える化を目的に新システムの導入を実施したため、無形固定資産は前期末と比較し増加いたしました。

④借入金

設備投資は高水準であったものの、運転資金の減少と保険金収入などにより、借入金は、前期末と比較し、291百万円減少いたしました。

借入金の推移



■ 中間貸借対照表 (要旨)

(千円未満切捨表示)

科 目	期 別	当中間期	前 期
		平成20年9月30日現在	平成20年3月31日現在
資産の部			
① 流動資産		9,930,412	9,953,842
固定資産		17,527,693	17,071,707
② 有形固定資産		15,945,821	15,731,172
③ 無形固定資産		747,118	480,994
投資その他の資産		834,753	859,540
資産合計		27,458,105	27,025,550
負債の部			
流動負債		10,870,977	10,837,189
固定負債		8,296,501	7,828,771
負債合計		19,167,478	18,665,961
純資産の部			
資本金		1,618,888	1,618,888
資本剰余金		1,541,589	1,541,589
利益剰余金		5,108,782	5,155,582
自己株式		△ 901	△ 854
その他有価証券評価差額金		22,267	44,382
純資産合計		8,290,627	8,359,589
負債純資産合計		27,458,105	27,025,550

■ 中間損益計算書 (要旨)

(千円未満切捨表示)

科 目	期 別	当中間期	前中間期
		自 平成20年4月 1 日 至 平成20年9月30日	自 平成19年4月 1 日 至 平成19年9月30日
売上高		7,731,603	7,107,359
① 売上原価		6,577,876	5,661,147
売上総利益		1,153,726	1,446,212
② 販売費及び一般管理費		1,085,516	1,028,418
営業利益		68,210	417,794
③ 営業外収益		93,405	72,457
④ 営業外費用		137,149	123,091
経常利益		24,466	367,160
⑤ 特別利益		27,838	65
⑥ 特別損失		32,917	47,646
税引前中間純利益		19,387	319,579
法人税、住民税及び事業税		12,389	128,000
法人税等調整額		△ 7,263	△ 6,298
中間純利益		14,260	197,878

ポイント

①売上原価

原油高による原材料費・燃料費の上昇、千葉工場火災事故にともなう生産能力の減少並びに「棚卸資産の評価に関する会計基準」適用にともなう評価損の計上等により、売上原価は前年同期と比較し増加いたしました。

②販売費及び一般管理費

機能強化を目的に営業部門・管理部門を中心に人員を増加いたしました。経費全般の抑制を図り、前年同期と比較し微増にとどまりました。

③営業外収益

前年同期と同様に研究開発費に対する補助金収入を計上いたしましたが、前年同期と比較してその金額が増加いたしましたので営業外収益は増加いたしました。

④営業外費用

火災事故関連に関する費用を計上したため、営業外費用は増加いたしました。

⑤特別利益

賞与引当金戻入益を計上しております。

⑥特別損失

主に固定資産除却損を計上しております。

Financial Statements

財務諸表

■ 中間株主資本等変動計算書 (要旨) (当中間期 自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

(千円未満切捨表示)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
平成20年3月31日残高	1,618,888	1,541,589	5,155,582	8,315,206	8,359,589
中間会計期間中の変動額					
別途積立金の積立て					
剰余金の配当			△ 61,060	△ 61,060	△ 61,060
中間純利益			14,260	14,260	14,260
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額 (純額)					△ 22,114
中間会計期間中の変動額合計			△ 46,800	△ 46,847	△ 68,961
平成20年9月30日残高	1,618,888	1,541,589	5,108,782	8,268,359	8,290,627

■ 中間キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(千円未満切捨表示)

科 目	期 別	当中間期	前 期
		自平成20年4月1日 至平成20年9月30日	自平成19年4月1日 至平成20年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,493,333	3,001,937
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,164,745	△ 2,371,449
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 384,264	△ 605,291
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高		938,229	993,898

「Cell-able」新製品発表会 (2008年5月)

新薬開発における前臨床試験を支援する新製品「Cell-able (セルエイブル)」を、株式会社トランスバレントと新規事業開発部バイオグループが共同研究開発し発売いたしました。発売にあたり、2008年5月15日に帝国ホテルにて、トランスバレント社と合同の「Cell-able」新製品発表会を行いました。当日は、全国紙を含める、14メディア16名の記者様にご参加いただき、熱心な質疑応答も繰り広げられ、製品の注目度の高さを伺うことができました。



2008洗浄展 出展 (2008年10月)

2008年10月1日～3日まで、東京ビッグサイトで開催された2008洗浄展にグリーンケミカル事業部が出展いたしました。今、廃溶剤リサイクルは、原油高による溶剤コストの高騰、地球環境保全の高まりを受け、ニーズが高まっています。当日は、当社の廃溶剤リサイクル技術とVOC回収サービスの説明を行い、多数の方々にご来場いただきました。

自己株式取得の決議 (2008年10月)

2008年10月23日に、自己株式を取得することを取締役会にて決議いたしました。自己株式取得は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするためのものです。決議の内容は右の通りです。

取得する株式の種類	当社普通株式
取得する株式の総数	100,000株 (上限) (発行済株式数 (自己株式を除く) の1.22%)
株式の取得価額の総額	80,000千円 (上限)
取得する期間	平成20年10月24日～平成21年1月23日

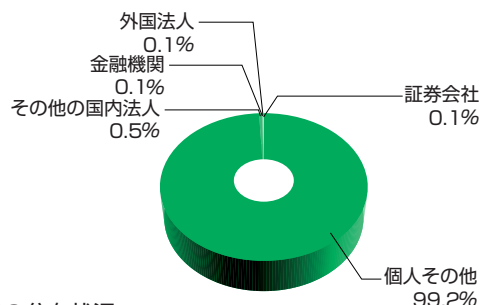
Stock Information

株式の状況 (平成20年9月30日現在)

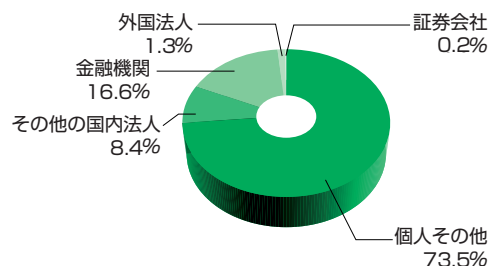
■ 発行可能株式総数	30,000,000株
■ 発行済株式総数	8,143,390株
■ 株主数	12,099名
■ 大株主	

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
木村正輝	1,697,270	20.8
木村有仁	364,800	4.5
木村愛理	353,000	4.3
千葉銀行	298,100	3.7
東京都民銀行	298,000	3.7
片岡文子	224,500	2.8
木村源四郎	210,100	2.6
早稲田大学	200,000	2.5
昭和エンジニアリング	170,000	2.1
東洋合成工業社員持株会	143,920	1.8

■ 株主の分布状況

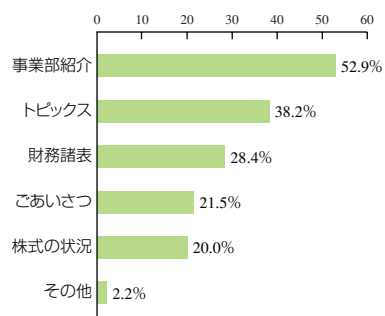


■ 株式の分布状況

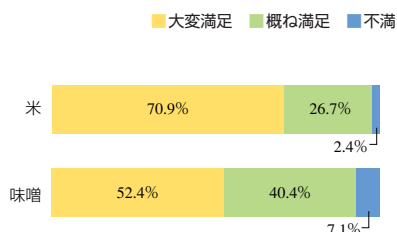


■ 第58期期末報告書 株主アンケート結果 (アンケート送付数 10,991人・回答数 4,152人・回収率 37.8%)

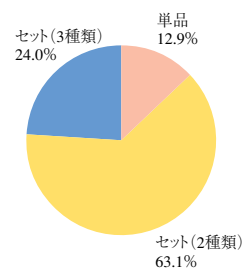
■ 第58期株主通信で興味を持った記事



■ 株主優待品の評価



■ 次回希望優待品



Corporate Profile

会社の概要 (平成20年9月30日現在)

- 商号 東洋合成工業株式会社
- 設立 昭和29年9月27日
- 資本金 1,618,888,703円
- 従業員数 389名
- 事業内容
 1. 有機工業薬品・有機溶剤等の製造並びに販売
 2. 画像形成用の感光性材料の製造並びに販売
 3. 電子表示機器の材料等の開発、製造並びに販売
 4. 電池材料並びに電気二重層材料等の研究開発、製造並びに販売
 5. 酵素の固定並びに細胞の培養をするための感光性樹脂の研究開発、製造並びに販売
 6. 倉庫業（液体化学品の保管管理）
 7. 貨物運送取扱業

- 事業所
東京営業所
東京都中央区八丁堀4丁目13番1号
高浜油槽所
千葉県市川市高浜町7番地
感光材研究所
千葉県印旛郡印旛村若萩4丁目2番地1
市川工場
千葉県市川市上妙典1603番地
千葉工場
千葉県香取郡東庄町宮野台1番51号
ヨーロッパ事務所
Teleport Towers Kingsfordweg 151
1043 GR Amsterdam The Netherlands

- 役員
代表取締役社長 木村 正 輝
専務取締役 春田 雅 彦
常務取締役 木村 有 仁
取締役執行役員 木村 英 夫
渡辺 宏 一
川村 繁 夫
三代川 桂之介
越後谷 洋 介
執行役員 大田 邦 彦
小島 勇 一
萩原 藤 健太郎
佐藤 多 衛
伊藤 正 一
萩原 正 進
宇田川 勉
鳥 井 勉

Information

お知らせ

- 株主優待
毎年3月31日・9月30日現在において、株主名簿に記載のある100株以上の株式を所有されている株主様に下記のご優待をご用意しております。



株数	100株以上
優待品	2,000円相当の千葉県特産品

平成20年9月末株主様へは、千葉県の誇るブランド米である千葉県香取郡多古町産コシヒカリ4kgとお味噌のセットを、11月下旬～12月上旬にかけて贈呈いたしました。

- 表紙写真
当社創業の地である東京都江戸川区河川敷の風景写真です。

©Kazuko Kimizuka

- アンケートにご協力ください
ご協力いただいた方のうち抽選で100名様にQUOカード1,000円分を2月中旬に送付させていただきます。
※平成21年1月30日(金)当社着にて締め切らせていただきます。
※当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。
※回答欄の下部に必ず株主番号及びお名前をご記入願います。



- ※アンケートご記入後、同封のプライバシー保護シールを宛名面の下段に貼り投函して下さい。
- ※個人情報保護に配慮し、ご記入いただいた個人情報は当社のIR活動以外に活用することはありません。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
剰余金の配当の基準日	毎年3月31日
定時株主総会基準日	中間配当を実施するときは9月30日 毎年3月31日
単元株式数	※その他必要がある場合は、予め公告いたします。 100株
公告方法	電子公告により行います。 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (郵便物送付先及び連絡先)	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
同 取 次 所	電話 0120-288-324 (フリーダイヤル) みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
単元未満株式の買取請求	単元未満株式の買取りは上記の株主名簿管理人の事務取扱場所及び取次所でお取扱いいたしております。



IRに関する情報をご覧いただけます。

<http://www.toyogosei.co.jp/>

東洋合成工業株式会社

〒272-0012 千葉県市川市上妙典1603番地
TEL047-327-8080 FAX047-327-8055
E-mail : ir@toyogosei.co.jp

